



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 10,792 | △6.2 | 70 | △85.0 | 49 | △83.6 | 34 | △90.6 |
| 25年3月期第2四半期 | 11,506 | 2.0 | 470 | △74.5 | 305 | △81.9 | 365 | △62.5 |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 296百万円(13.9%) 25年3月期第2四半期 260百万円(△62.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 3 | 68 | — | — |
| 25年3月期第2四半期 | 39 | 33 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|-------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 26年3月期第2四半期 | 36,101 | | 22,386 | | 56.1 | 2,182 | 25 | |
| 25年3月期 | 35,542 | | 22,237 | | 56.6 | 2,165 | 57 | |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,256百万円 25年3月期 20,101百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|------|------|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — | — |

3. 平成26年3月期第3四半期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。

また、通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想についても開示いたしておりません。

平成26年3月期第3四半期連結累計期間(9ヶ月の累計)の業績予想は以下の通りとなります。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----------|--------|------|------|-------|------|---|-------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第3四半期(累計) | 16,000 | △1.7 | 70 | △49.3 | 30 | — | △50 | — | △5 | 38 |

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 26年3月期2Q | 9,282,500株 | 25年3月期 | 9,282,500株 |
| 26年3月期2Q | 83株 | 25年3月期 | 41株 |
| 26年3月期2Q | 9,282,458株 | 25年3月期2Q | 9,282,500株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 7 |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (5) 重要な後発事象 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスの効果で企業業績には好転の兆しが見えるものの、賃金が据え置かれている中で円安による物価上昇が見られるなど、先行きの不透明感が続く展開となりました。

当社グループの属する世界の半導体市場は、スマートフォンを中心としたモバイル機器向け製品や車載製品が好調に推移いたしました。PC向け及びデジタル家電向けなどにつきましては低調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、メモリ事業、システムLSI事業とも前四半期から緩やかな改善傾向で推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は10,792百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は70百万円(同85.0%減)、経常利益は49百万円(同83.6%減)、四半期純利益は34百万円(同90.6%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

メモリ事業におきましては、前四半期と比較し、主にモバイル機器に使用されるテスト時間の長い製品の受託数量が緩やかに増加したほか、ゲーム向けなどその他メモリ製品も受託数量が増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は7,883百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は860百万円(同30.0%減)となりました。

② システムLSI事業

システムLSI事業のテスト受託におきましては、前四半期から引き続き堅調に推移いたしました。また、WLP・BUMP受託加工(※)におきましても受託数量は緩やかに回復いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は2,997百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント損益は163百万円の損失(前年同期は12百万円の損失)となりました。

※WLP・BUMP受託加工とは、小型、薄型パッケージであるウエハレベルパッケージ(WLP)や省スペース実装を可能にする半導体パッケージの端子部の受託加工のことです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は36,101百万円となり、前連結会計年度末比558百万円の増加となりました。これは主に、償却などにより有形固定資産が2,182百万円減少したものの、代理購買した治工具の売却等に伴いその他流動資産が1,875百万円増加、売上高の増加に伴い現金及び預金が464百万円増加、受取手形及び売掛金が347百万円増加したことによるものです。

負債は13,714百万円となり、前連結会計年度末比409百万円の増加となりました。これは主に、返済によりリース債務が1,276百万円減少したものの、一方で治工具の代理購買等により支払手形及び買掛金が1,530百万円増加したことによるものです。

純資産は22,386百万円となり、前連結会計年度末比149百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が34百万円増加、為替換算調整勘定が120百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は6,507百万円となり、前連結会計年度末比464百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,439百万円の純収入（前年同期比30.5%の収入減）となりました。これは主に、減価償却費の計上4,153百万円や仕入債務の増加1,530百万円により資金が増加したことに対し、その他の流動資産の増加1,714百万円や売上債権の増加318百万円により資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,403百万円の純支出（前年同期比37.4%の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,430百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,630百万円の純支出（前年同期比36.7%の支出減）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出1,488百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内では景気の回復傾向が見られるものの、来春の消費増税の影響が懸念されるほか、米国の財政問題や中国におけるシャドーバンキング問題、新興国の経済動向など、景気の先行きには不透明感が残るものと予想しております。

半導体市場におきましては、スマートフォンの新機種の販売が好調に推移しているものの、クリスマス商戦向けの電子部品の生産が一段落する時期でもあり、半導体の生産は緩やかに下落するものと予想しております。

このような状況のもと、第3四半期の当社グループのメモリ事業ではモバイル向け製品や、その他メモリの受託が減少傾向となるなど、第2四半期に比べ売上が低調に推移すると予想しております。また、システムLSI事業のテスト受託、WLP・BUMP受託加工とも緩やかに減少し、業績は前四半期をやや下回るものと予想しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高が160億円、営業利益が70百万円、経常利益が30百万円、四半期純損益は50百万円の損失と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,243,022 | 6,707,259 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,639,766 | 3,986,859 |
| 製品 | 23,683 | 25,088 |
| 仕掛品 | 189,668 | 210,604 |
| 原材料及び貯蔵品 | 87,069 | 98,267 |
| その他 | 839,960 | 2,715,507 |
| 貸倒引当金 | △332 | △284 |
| 流動資産合計 | 11,022,838 | 13,743,301 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 16,987,072 | 15,598,347 |
| その他（純額） | 5,908,731 | 5,115,380 |
| 有形固定資産合計 | 22,895,804 | 20,713,727 |
| 無形固定資産 | 600,011 | 553,195 |
| 投資その他の資産 | | |
| 破産更生債権等 | 964,440 | 799,433 |
| その他 | 506,546 | 521,517 |
| 貸倒引当金 | △447,063 | △230,007 |
| 投資その他の資産合計 | 1,023,923 | 1,090,943 |
| 固定資産合計 | 24,519,738 | 22,357,867 |
| 資産合計 | 35,542,576 | 36,101,168 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,144,937 | 2,675,518 |
| 短期借入金 | 1,764,461 | 1,854,280 |
| リース債務 | 2,729,360 | 2,598,364 |
| 未払法人税等 | 40,353 | 39,614 |
| 賞与引当金 | 453,511 | 404,204 |
| その他 | 1,628,183 | 1,779,313 |
| 流動負債合計 | 7,760,807 | 9,351,296 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 4,529,671 | 3,383,702 |
| 引当金 | 297,004 | 263,838 |
| その他 | 717,488 | 715,430 |
| 固定負債合計 | 5,544,164 | 4,362,971 |
| 負債合計 | 13,304,971 | 13,714,268 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,823,312 | 11,823,312 |
| 資本剰余金 | 11,380,267 | 11,380,267 |
| 利益剰余金 | △3,058,084 | △3,023,899 |
| 自己株式 | △24 | △62 |
| 株主資本合計 | 20,145,471 | 20,179,617 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △43,651 | 76,908 |
| その他の包括利益累計額合計 | △43,651 | 76,908 |
| 少数株主持分 | 2,135,785 | 2,130,374 |
| 純資産合計 | 22,237,605 | 22,386,900 |
| 負債純資産合計 | 35,542,576 | 36,101,168 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 11,506,748 | 10,792,758 |
| 売上原価 | 9,883,124 | 9,690,113 |
| 売上総利益 | 1,623,623 | 1,102,644 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,152,689 | 1,032,128 |
| 営業利益 | 470,934 | 70,515 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 916 | 3,273 |
| 設備賃貸料 | 17,565 | 22,088 |
| 還付加算金 | 8,593 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 59,906 |
| その他 | 12,969 | 12,718 |
| 営業外収益合計 | 40,045 | 97,986 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 98,683 | 67,818 |
| 休止固定資産減価償却費 | 60,117 | 31,613 |
| その他 | 47,021 | 19,150 |
| 営業外費用合計 | 205,822 | 118,582 |
| 経常利益 | 305,157 | 49,919 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 125,792 | 538 |
| 特別利益合計 | 125,792 | 538 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 627 | 960 |
| 固定資産除却損 | 597 | 1,689 |
| 特別損失合計 | 1,224 | 2,649 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 429,725 | 47,808 |
| 法人税等 | △17,571 | △12,277 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 447,296 | 60,086 |
| 少数株主利益 | 82,201 | 25,901 |
| 四半期純利益 | 365,095 | 34,184 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主利益 | 82,201 | 25,901 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 447,296 | 60,086 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △187,082 | 236,393 |
| その他の包括利益合計 | △187,082 | 236,393 |
| 四半期包括利益 | 260,214 | 296,479 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 269,683 | 154,745 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △9,468 | 141,734 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 429,725 | 47,808 |
| 減価償却費 | 4,176,304 | 4,153,594 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | △52,785 | △86,099 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 8,203 | △217,104 |
| 受取利息 | △916 | △3,273 |
| 支払利息 | 98,683 | 67,818 |
| 設備賃貸料 | △17,565 | △22,088 |
| 還付加算金 | △8,593 | — |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △124,567 | 2,111 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 681,612 | △318,485 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 70,117 | △30,927 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △237,631 | 1,530,335 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | △8,733 | 165,007 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △20,549 | △1,714,484 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △153,256 | △63,238 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | △5,957 | 55,615 |
| その他 | 13,114 | △1,906 |
| 小計 | 4,847,203 | 3,564,683 |
| 利息の受取額 | 897 | 3,265 |
| 利息の支払額 | △98,683 | △67,818 |
| 法人税等の還付額 | 337,049 | 7,731 |
| 法人税等の支払額 | △135,842 | △68,394 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,950,623 | 3,439,468 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △350,000 | △300,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 150,000 | 300,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,178,064 | △1,430,778 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 149,304 | 8,574 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △30,941 | △6,424 |
| 設備賃貸料の受取額 | 14,583 | 24,755 |
| その他 | 943 | △104 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,244,174 | △1,403,977 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | △300,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △150,000 | — |
| リース債務の返済による支出 | △2,501,446 | △1,488,514 |
| セール・アンド・リースバック取引による収入 | 413,679 | — |
| 自己株式の取得による支出 | — | △38 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △39,357 | △141,510 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,577,125 | △1,630,063 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △35,307 | 58,810 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 94,016 | 464,237 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,557,662 | 6,043,022 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,651,678 | 6,507,259 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 2 | 合計 (注) 3 |
|-----------------------|-----------|---------------------|------------|--------------|-------------|
| | メモリ事業 | システム LSI事業 (注) 1 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,089,930 | 3,425,368 | 11,515,298 | △8,550 | 11,506,748 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 11,260 | 11,260 | △11,260 | — |
| 計 | 8,089,930 | 3,436,628 | 11,526,558 | △19,810 | 11,506,748 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,229,226 | △12,245 | 1,216,980 | △746,046 | 470,934 |

(注) 1. 平成23年10月1日より株式会社テラミクロスが子会社になったことから、株式会社テラミクロスの業績をシステムLSI事業に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△746,046千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△743,210千円、連結消去△1,471千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△1,365千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 合計 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------------|------------|--------------|-------------|
| | メモリ事業 | システム LSI事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,883,631 | 2,851,438 | 10,735,069 | 57,688 | 10,792,758 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 146,370 | 146,370 | △146,370 | — |
| 計 | 7,883,631 | 2,997,809 | 10,881,440 | △88,682 | 10,792,758 |
| セグメント利益又は損失(△) | 860,000 | △163,440 | 696,560 | △626,044 | 70,515 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△626,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△671,010千円、連結消去47,295千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△2,329千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成25年7月30日開催の取締役会において、当社100%子会社の株式会社テラミクロスを吸収合併することを決議し、平成25年10月1日に吸収合併いたしました。

1. 合併の目的

半導体テストとウエハレベルパッケージを包括的に提供するターンキーサービスの充実を図ることとで、事業基盤の強化を図り、グループ経営の効率化を推進するため。

2. 合併する相手会社の名称

株式会社テラミクロス

3. 相手会社の主な事業の内容、規模（平成25年3月31日現在）

事業内容 半導体パッケージの開発、製造、販売

売上高 4,261百万円

当期純利益 △624百万円

総資産 3,707百万円

純資産 1,032百万円

4. 合併日

平成25年10月1日

5. 合併の方式

当社を存続会社とする簡易吸収合併方式で、株式会社テラミクロスは解散いたしました。

6. 合併に係る割当の内容

本合併は、当社100%出資の連結子会社との合併であるため、新株の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

7. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。